

不整合に覆われる。

上部第三系は、新第三系中新統・鮮新統の流紋岩質～玄武岩質溶岩・火砕岩、イグニンプライト、及び陸上堆積物の挟みからなる。

第四系は河川堆積物、湖沼堆積物、風成層、沖積層、崩積土、泥流堆積物沖積層、崖錐堆積物からなる。

本地域では、TM画像上で東部と西部の2カ所に変質帯が抽出された。

東部の変質帯は閃緑岩岩体及びその周辺の中・上部ジュラ系堆積岩類に発達し、珪化を主とするが、周辺部にはセリサイト化も認められる。閃緑岩岩体には褐鉄鉱からなる酸化帯が発達するが、黄鉄鉱が残存する。また、その周辺のジュラ系中には、孔雀石の弱鉱染が認められる。本変質帯中では石英脈の発達が悪い。

西部の変質帯は花崗閃緑斑岩岩体及びその周辺のジュラ系堆積岩類に発達し、セリサイト化及び珪化からなる。変質帯では黄鉄鉱鉱染が普通に認められ、花崗閃緑斑岩岩体中には黄銅鉱の弱鉱染が認められる。また、南部のジュラ系中・上部には、NE系の珪化脈が発達し、その周辺は黄鉄鉱起源を示唆するボックスワークからなる酸化帯となっている。

岩石地化学異常として注目されるのは、東部変質帯におけるZn-As高異常である。

2-6 クイーンエリザベス西部地域

本地域の地質図をFig. 2-2-26に、模式地質柱状図をFig. 2-2-27に、鉱微位置図をFig. 2-2-28に、変質鉱物分布図をFig. 2-2-29に、岩石地化学異常分布図をFig. 2-2-30にそれぞれ示した。

本地域の地質は、中・上部ジュラ系、下部白亜系、上部第三系、上部第三系・第四系及び第四系からなる。

中・上部ジュラ系はチャート、礫岩、頁岩、マール、石灰岩及び砂岩からなる。

下部白亜系は安山岩質～流紋岩質の溶岩・火砕岩、イグニンプライト及び陸上堆積物の挟みからなる。

中・上部ジュラ系及び下部白亜系は白亜紀または第三紀の貫入岩類に貫かれる。この貫入岩類は、閃緑岩、花崗閃緑岩及び斑岩類からなる。これらの貫入年代は従来の地質図では白亜紀となっていたが、本地域南東部の花崗閃緑岩は初生黒雲母のK-Ar法年代として 41.3 ± 1.0 Maを得たことから、貫入岩類の一部は古第三紀始新世中期の活動であることが明らかになった。下部白亜系及び上記貫入岩類は上部第三系により不整合に覆われる。

上部第三系は新第三系中新統・鮮新統の流紋岩質～玄武岩質の溶岩・火砕岩・イグニンプライト及び陸上堆積物の挟みからなる。

上部第三系・第四系は、新第三系鮮新統・第四系更新統のデイサイト質のイグニンプライト・凝灰岩、及び陸上堆積物の挟みからなる。

第四系は沖積層及び崖錐堆積物からなる。

本地域には北部、中央部、南東部、西部の4カ所に変質帯が存在する。

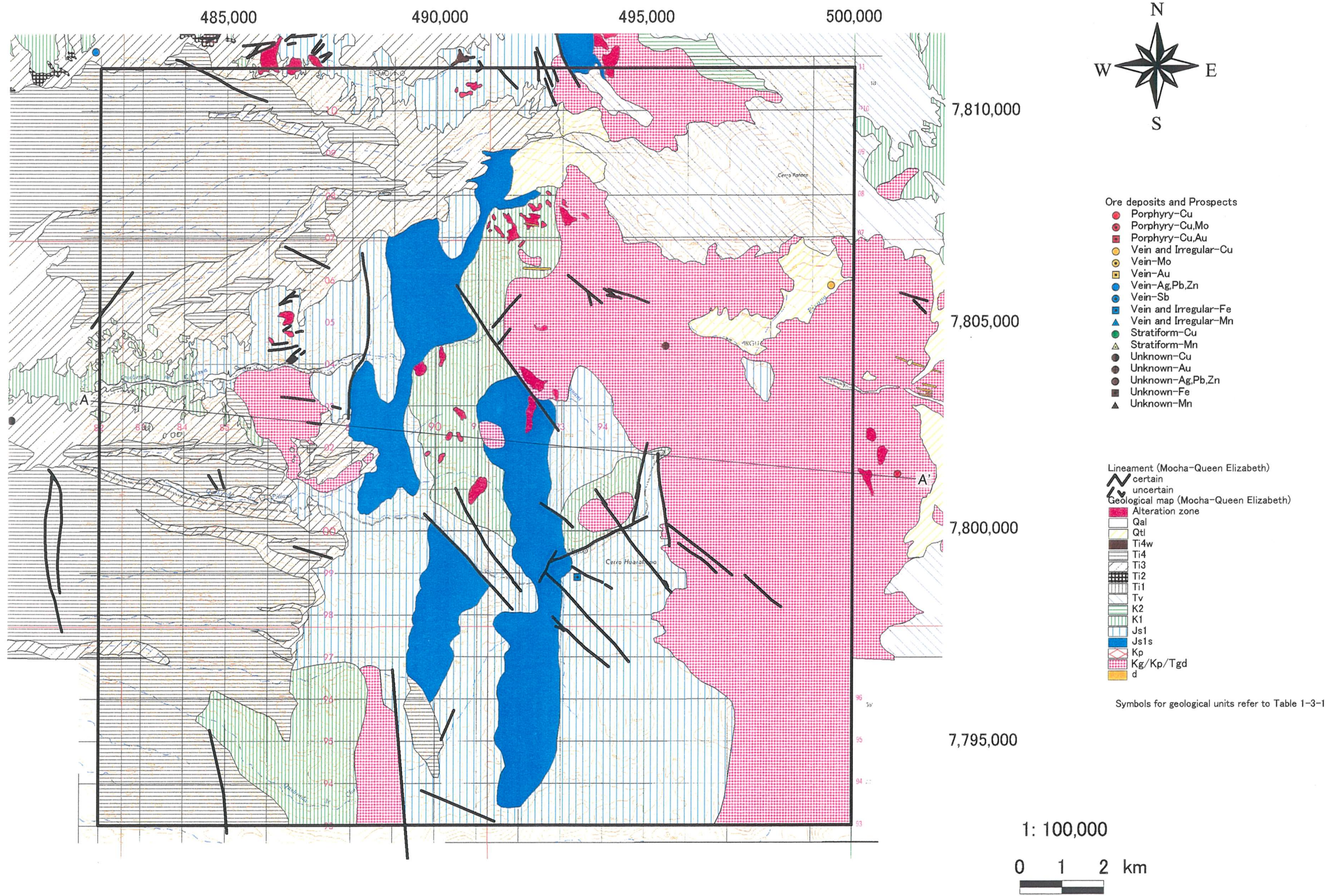


Fig. 2-2-26 Geological Map of the West Queen Elizabeth Area